



第21号

令和2年3月1日発行

宮城県富谷高等学校 同窓会報

発行
宮城県富谷高等学校
同窓会
〒981-3341
宮城県富谷市成田
二丁目1番地1
宮城県富谷高等学校内
TEL 022-351-5111
FAX 022-351-5112

同窓会会長
本間 大介

ONE TEAM

同窓生の皆様、1年のご無沙汰でございます。富谷高校同窓会会長をさせていただいております。今年度は皆様にとっても大変な1年間でしたでしょうか？世間でもいろいろな出来事がありましたね。なんといつても「平成」という1つの時代が終わり「令和」という新しい時代の幕開けとなった記念すべき年だったということではないでしょうか。これから令和という時代という時代としていくかは私達一人一人の肩にかかっているのかもしれませんね。願わくば良い時代になつて欲しいと思います。

さて、今年の明るい話題と言えはなんといってもラグビーワールドカップ日本大会での日本代表の躍進だったのではないのでしょうか？私は大学時代の4年間をラグビー部で過ごさせてもらいました。故に何より感慨深いものとなりました。一回生の男子は覚えてますでしょうか？そして、それ以外の回生の方は知ってましたか？ラグビーのグラウンドもラグビー部もない富谷高校で体育の授業が

で何故かラグビーの授業があったことを(笑)しかもランパスだけひたすらやるっていう謎の授業でした(笑)その時、柔道部だった私はまさか大学であんなに真剣にラグビーとまた向き合うことになるとは思いませんでした。それと今年の流行語大賞は題名にもさせていただきました。ONE TEAM。後半最後のサイドアタックを一步も前に進ませないディフェンスはまさにONE TEAMを体現するようなディフェンスで自然と涙がこぼれました。あのひたむきな姿はあの時頃から発揮した力ではなく日頃のどんなでもない厳しい練習とぶつかり合いながらも一つのチームとして精進しまとまってきた結果なのでしょう。それは一朝一夕では出来ない尊いものなのだと思います。そして、私にはもう一つラグビー用語で好きな言葉があります。ラグビーでは試合終了のことをノースайдと言います。それは試合が終われば味方サイドも敵サイドもないノースайдだと言う意味だそうなんです。とても美しく理想的な考え方だなあといつも思います。そんなにもいい簡単なことではないことばもういい大人なので解ります。でも理想は必要だと思えます。せめて富谷高校同窓会は同じ高校を出た仲間としてノースайд、そしてONE TEAMでありたいと願っております。

校長
粟野 琴絵

地域に根ざした活動に

同窓生の皆さまには、日頃より富谷高校の教育活動に対し、深いご理解とご支援・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。令和元年度は、台風19号の被害をはじめ、大雨洪水等の甚大な被害に見舞われた年でした。被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。今年度創立二十六周年目を迎えました。富谷高校は平成六年の開校以来、「人文・国際・理数」の三つのコースを持つ「普通科コース制」の高校として、昨年度までの二十五年間、様々な取り組みに挑戦してきました。

しかし、時代や社会、地域等の変化に対応するため、さらにはユネスコスクールとしての取り組みをより積極的に展開するために、学校の体制を大きく変えることにしました。そこで今年度からは、これまでのコース制を廃止し、新たに「普通科」一括募集、二年生からの「類型(人文・国際・理数)選択制」に移行しました。在校生は、創立以来の伝統をしっかりと受け継ぎ、勉学に部活動に明るく元気に励んでおります。今年度もさまざまな分野で、素晴らしい活躍を見せています。その活躍については、会報の後半の部分に掲載されておりますので、ご覧いただきたいと思います。ここでは在校生の例年以上の活躍、そして「新たな挑戦」について紹介したいと思います。

その一つに、ユネスコ委員や有志生徒の活躍(挑戦する姿)があります。富谷市をはじめ、いろいろなところで開催される大会に積極的に参加して、今までの活動の発表をしました。すばらしい賞もいただきました。このような機会・経験をさらに積み重ねて、「自分の知らない世界を知り、その世界に想いを馳せ、自分たちに何ができるかをともに考え、そして行動する」、そのような生徒が数多く育ってくればと期待しています。

そして、「新たな挑戦」が、「水素プロジェクト」への取組でした。これは、昨年度末に富谷市からの依頼で始まり、富谷市成田公民館を会場に、「未来・水素フォーラムin富谷」という大きなイベントがあり、その中の「中・高校生のため」の(サイエンス・キャッスル2019東北大会に特別枠で研究発表をするというもの)でした。

新学期に入って、富谷市職員から、今回の取組の趣旨について講話をいただき、一・二年生を対象に希望者を募った結果、自然科学部の生徒を中心に、五十名を超える生徒が集まり、発表・調査・大会運営(「緑の下力持ち」)の三つのグループに分かれて、活動を開始しました。まずは、「水素」について学ぶことからスタートしました。市内の水素エネルギー関連施設や福島再生可能エネルギー研究所等々の見学をし、改めて「水素」について学び、「水素エネルギー」に初めて向き合い、その有効活用について生徒たちなりにいろいろな角度から考えるきっかけをいただきました。ご支援いただいた企業の方々や富谷市職員の後押しを受けて、短期間にもかかわらず、素晴らしい発表につながりました。発表を支えた(保護者・住民の)意識調査を担当した生徒、二日間

同窓会総会および 懇親会報告

令和元年8月11日(日)、富谷高校の人文講義室にて、第22回同窓会総会が開催されました。

天気も良く、暑い中でしたが、たくさんの方の卒業生の方々に出席していただきました。総会では役員の方々のスムーズな進行により、報告・審議・承認が行われ、その後毎年行われている懇親会を開催しました。久しぶりに同級生と会い懐かしむ方、結婚されてお子さんと一緒に参加された方など、それぞれ会話を

20回生 千葉 蒼

楽しんでおり、にぎやかな様子でした。今年も特に参加が多かったのが、昨年卒業したばかりの23回生で、元気に参加してくれました。

チケットや、ワイヤレスイヤホン、クマのぬいぐるみなど、豪華景品をめぐり、白熱した争いをみせ、大変盛り上がりました。準備や進行をしてくださった役員の皆様、本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

まだ同窓会に出席したことのない皆さんも、ぜひ一度参加してみてはいかがでしょうか。

総会後は、懇談会が行われ、食事をしながら同級生との会話を楽しむ方や、社会人になった方々と、学生のみなさんの間で交流する様子もあり楽しいひと時を過ごすことができました。

懇談会の催しでビンゴ大会が開催され、1等のディズニーペア



平成30年度事業報告

開催日	事業名	内容等
H30.6.21	会計監査	
7.3	第1回役員会	決算案、事業報告案、予算案、事業計画案、同窓会総会などに関する審議
8.11	第21回同窓会総会	本校人文講義室
H31.2.28	第2回役員会	同窓会入会式準備、次年度日程の素案作成
2.28	同窓会入会式	
3.1	第23回卒業式 同窓会報第20号発行	

令和元年度事業計画(案)

開催日	事業名	内容等
R01.6.17	会計監査	
7.3	第1回役員会	決算案、事業報告案、予算案、事業計画案、同窓会総会などに関する審議
8.11	第22回同窓会総会	本校人文講義室
R02.2.28	第2回役員会	同窓会入会式準備、次年度日程の素案作成
2.28	同窓会入会式	
3.1	第24回卒業式 同窓会報第21号発行	

平成30年度宮城県富谷高等学校同窓会決算報告書

1 収入の部 (単位:円)				
項目	予算額	決算額	比較	摘要
1 会費	1,494,000	1,480,500	△13,500	900円×延べ1,659名 転退学に伴う返金14人名12,600円
2 繰越金	202,672	202,672	0	
3 雑収入	28	0	△28	
合計	1,696,700	1,683,172	△13,528	

2 支出の部				
項目	予算額	決算額	残額	摘要
1 運営費	176,000	93,350	82,650	
(1) 会議費	40,000	4,990	35,010	役員会会議費
(2) 事務費	100,000	86,360	13,640	役員会・総会案内はがき代、データ管理料
(3) 需用費	16,000	0	16,000	色上質紙代
(4) 旅費	20,000	2,000	18,000	役員会旅費
2 事業費	1,410,000	1,286,760	123,240	
(1) 総会費	80,000	65,591	14,409	総会開催経費
(2) 広報活動費	750,000	666,736	83,264	HP管理運営費、会報発行経費等
(3) 遠征費補助	150,000	150,000	0	部活動遠征費補助
(4) 記念品費	200,000	204,433	△4,433	卒業記念品、新入生校章
(5) 慶弔費	30,000	0	30,000	
(6) 積立費	200,000	200,000	0	積立金
3 予備費	110,700	0	110,700	
合計	1,696,700	1,380,110	316,590	

3 次年度繰越金			
総収入額	総支出額	差引残額	摘要
1,683,172	1,380,110	303,062	次年度へ繰越

4 積立金			
前年度繰越金	今年度繰入金	定期預金利子	積立金累計
6,639,238	200,000	562	6,839,800

令和元年度宮城県富谷高等学校同窓会予算書(案)

1 収入の部 (単位:円)				
項目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
1 会費	1,485,000	1,494,000	△9,000	@1,800円×825名
2 繰越金	303,062	202,672	100,390	
3 雑収入	38	28	10	
合計	1,788,100	1,696,700	91,400	

2 支出の部				
項目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
1 運営費	176,000	176,000	0	
(1) 会議費	40,000	40,000	0	役員会会議費
(2) 事務費	100,000	100,000	0	役員会・総会案内はがき代、データ管理料
(3) 需用費	16,000	16,000	0	コピー用紙代等
(4) 旅費	20,000	20,000	0	役員会旅費
2 事業費	1,510,000	1,410,000	100,000	
(1) 総会費	80,000	80,000	0	総会開催経費
(2) 広報活動費	800,000	750,000	50,000	HP管理運営費、会報発行経費等
(3) 遠征費補助	150,000	150,000	0	部活動遠征費補助
(4) 記念品費	250,000	200,000	50,000	卒業記念品、新入生校章
(5) 慶弔費	30,000	30,000	0	
(6) 積立費	200,000	200,000	0	積立金
3 予備費	102,100	110,700	△8,600	
合計	1,788,100	1,696,700	91,400	

監査報告

通帳及び関係書類を監査したところ、いずれも適正に処理されている事を報告いたします。

令和元年6月17日

監事 菅原 麗瑛
監事 高田 友麻



クラブ活動報告

運動部

〈県高総体等〉

■硬式野球部

春季北部地区大会 地区予選 惜敗

■ソフトボール部 1回戦 惜敗

■サッカー部 1回戦 惜敗

■男子バレーボール部 2回戦 進出

■女子バレーボール部 2回戦 進出

■男子バスケットボール部 2回戦 進出

■女子バスケットボール部 2回戦 進出

■陸上競技部

男子やり投げ 決勝第2位

大崎友法（東北大会出場）

男子110mH 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

女子400mR 準決勝進出

女子100m 準決勝進出

□弓道部

男子団体 準々決勝進出

男子個人 準々決勝進出

女子団体 第1位

（高橋・佐藤あみ・山崎・

佐藤朱里・菅原・浅川・星丸倉）

女子射道優秀賞

女子個人 第1位

準々決勝進出

女子団体 準々決勝進出

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

女子射道優秀賞

女子個人 準々決勝進出

文化部

■文芸部

第16回宮城県高等学校文芸コンクール

短歌部門 入選

文芸部誌部門 優良賞

『陽粒 23号』

サイエンスキャッスル東北大会出場

（水素プロジェクト）

吹奏楽部

マーチングバンド・

バントウォーリング東北大会

フェスティバル部門／

シンフォニックウインド賞

ヤマハ賞受賞

日本吹奏楽指導者協会

管打楽器ソロコンテスト南東北大会

マーチング&バトン

オンステージ東北大会

銀賞

美術部

愛鳥週間ポスター原画コンクール

優秀賞 全国コンクール出品

第43回全国高等学校総合文化祭

美術・工芸部門 参加出品

令和元年度宮城県読書感想画

コンクール

優良賞 小野寺海

第72回宮城県高等学校美術展

優秀賞 早川音々、石橋萌

奨励賞 武田美優

大貫泰河、関歩未、

平塚冨郎

演劇部

第57回宮城県高等学校演劇コンクール

『Lethargy』 優良賞

個人戦 シングルス 2回戦 進出

ダブルス 2回戦 進出

熊谷・高屋敷、相原・三瓶

3回戦 進出

笠井・瀬野

男子ハンドボール部 1回戦 惜敗

女子ハンドボール部 1回戦 惜敗

■弦楽合奏部

第43回全国高等学校総合文化祭

2019佐賀総文祭 参加

第42回宮城県高等学校音楽祭 参加

第44回全国高等学校総合文化祭

（2020高知総文） 出場権獲得

ダンス部

宮城県高文連ダンス専門部主催

第27回ダンスフェスティバル2019

優秀賞 富谷高校 EARNEST

作品名「WASH HOI」

■囲碁将棋同好会

第55回全国高等学校将棋選手権

宮城県予選大会

B級4位 佐藤雅也

第43回文部科学大臣杯全国高等学校

団体戦 第3位

（大将：野元勝太、副将：相澤瑞希、

三将：佐藤雅也）

第32回全国高等学校将棋竜王戦

宮城県予選大会

C級 5位 脇屋勇希

第20回宮城県高等学校

囲碁九路盤大会

7位 岡田隼太郎

第36回宮城県高等学校将棋

新人大会

C級 優勝 佐々木伶士

第37回宮城県高校囲碁新人大会

B組 1位 岡田隼太郎



	氏	名
1組	郷湖亮佑	
	安食芳美	
2組	加藤蒼梧	
	佐々木凜	
3組	早坂恵里	
	日野未悠	
4組	齋麟太郎	
	佐藤晃世	
5組	石黒駿介	
	高橋輝正	
6組	嶺岸拓海	
	浅野夏穂	
7組	茂野美羽	
	藤澤野乃	

清原 聡子 先生
(数学・塩釜高校)

同窓
富名
E.
to
ホー

全国選抜大会
弓道競技に参加して
女子弓道部主将
2年 佐藤あみ
群馬県前橋市で開催された全国選抜大会に参加しました。会場には技術力が素晴らしかったです。立ち振る舞いがしっかりできています。チームしかおらず、弓を志す者として学ばなければならないと思います。ベスト16で大会を終えましたが今回の経験を生かし、よりよいチーム作りができるようこれから頑張ります。応援ありがとうございます。

編集後記

今年度の総会も八月の海の日に和気藹々とした雰囲気の中開催されました。今年度から同窓会副会長を大町祐太様に変わり、宮澤将之様にお引き受けいただき、御多事になりましたのでご報告いたします。

今後とも同窓生の皆様の温かいご支援を宜しくお願ひいたします。

石森和恵